

## 後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策：02 総合計画の推進と未来の価値の創造

主管課長職・氏名	企画政策課長 杉村 英久
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

		4年後における滝沢市全体の目標は総合計画の達成であり、当基本施策ではそれに向けた総合計画の全体進捗の的確な管理を行います。また、さらにその先を見据え、多様化が進む中での未来における滝沢市の価値づくりを進めます。						
--	--	---	--	--	--	--	--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 総合計画を知っている人の割合 単位 %	15.4	24.4	33.4	42.4	50	50	-
			17.3	22.1	0	-	-	0.0
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	62.5	65	70	75	75	-
			65.4	62.6	0	-	-	0.0
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 06020100 総合計画を軸としたマネジメントの推進 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	74.1	75.6	77.1	78.5	80	80	-
			70.6	68.8	0	-	-	△89.8
2	暮らし 06020200 未来に向けた滝沢の価値の創造 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	79	80	80	-
			69.1	68.1	0	-	-	△120.4
3	暮らし 06020300 価値の創造に向けた情報の発信と活用 普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合 単位 件	49.2	50	55	58	60	60	-
			52	47.2	0	-	-	△18.5
	単位							
	単位							

## 後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策：02 総合計画の推進と未来の価値の創造

主管課長職・氏名	企画政策課長 杉村 英久
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

## (1) 基本施策目標の進捗状況分析

総合計画の推進を図るためには、市民の総合計画への理解が重要であると考え、目標値として「総合計画を知っている人の割合」を掲げています。平成30年度値で15.6%、令和元年度値で17.3%、令和2年度で22.1%となっており、徐々に上昇していますが、後期基本計画の目標値である50%に比べ低くなっています。そのため、地域社会アンケート、ホームページ、広報紙での周知のほか大学生等若い世代への周知を強化しており、その活動の成果が少しずつ表れていると考えます。一方、新たな価値づくりについては、市民、地域、行政等の連携が重要であります。新型コロナウイルス感染症の影響から市民の暮らしに大きな変化があり、また、新たな価値観も生まれており、新たな考えでの事業の創出が必要となっております。

## (2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

高度経済成長期の経済社会システムの崩壊、経済を中心としたグローバル化の進展、少子化、高齢化、人口減少社会、高度情報化による経済、社会システムの大きな変化に加え、新型コロナウイルス感染症や豪雨等の自然災害の影響もあり、人々の生活様式、仕事の仕方、価値観の多様化などが進んでいます。ヒト、モノ、カネなどの資源が少なくなる中で、市民の変化し、多様化する価値観にどの様に対応していくかが大きな課題となっております。さらには、新型コロナウイルス感染症の影響は市民の暮らしや経済活動にも大きな変化を与えております。これらの大きな変化の中においては、様々な視点からの取組が重要となっております。

## (3) 政策との関連性

政策である「次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門」は、総合計画の推進を支える「ヒト・モノ・カネ・情報」の経営資源を持続的に確保し、配分する政策です。当基本施策は総合計画を進めるためのマネジメント、総合計画を推進するための情報収集、情報発信、更には、総合計画の推進に加速度を与えるための新たな手法、連携、枠組等を検討し推進する基本施策であり非常に強い関連性を持っています。

## 3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

## (1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

基本施策「総合計画の推進と未来の価値の創造」を進めるために、総合計画を軸としたマネジメントをしっかりと推進するとともに、そのマネジメントを支える市民ニーズや統計情報等の情報収集、市民が必要な情報発信などを推進します。また、総合計画の展開戦略の一つである若者定住の具体的な取組を進めるとともに、総合計画の目標に向けた取組に加速度を与えるため、総合計画のすべての推進に関わる新たな手法や連携の枠組みの具現化を進めます。また、現状に留まらず未来を見据え、更には新たな総合計画の策定も踏まえ、滝沢市が活力ある住みやすい地域であり続けるための事業企画、事業推進の仕組み、人的ネットワークの構築を図ります。

## (2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題

- ・後期基本計画達成のためのマネジメントと展開戦略である健康づくり、若者定住の推進を図ります。
- ・第2次滝沢市総合計画の策定と新しいプロジェクトの検討を進めます。
- ・様々な世代や様々な場面における新たな時代に向けた広報戦略を検討します。
- ・まち・ひと・しごと総合戦略及び国土強靱化計画の推進を図ります。
- ・市民との対話、連携の新たな手法の模索を引き続き進めます。

## (3) 基本計画期間及び令和 4年度重点課題に基づく優先順位の考え方

本施策は、総合計画を推進することが軸となっていることから令和4年度においても総合計画の推進マネジメントを軸として進めます。特にも、令和4年度は後期基本計画の最終年度であることから、後期基本計画が達成するようマネジメントを強化します。同時に令和5年度からスタートする第2次滝沢市総合計画の策定を優先的に進めます。さらには、第2次滝沢市総合計画が実効性の高い計画となるよう実効性の高いプロジェクトを検討するとともに、推進体制の準備を進めます。また、第2次滝沢市総合計画の策定と合わせ、新しい時代における広報戦略を検討します。

